



ポイントロボス州立自然保護内
では以下のルールを
厳守してください



犬の連れ込み禁止：車内に犬を残しておく場合も含め、ポイントロボス州立自然保護区（以下「ポイントロボス」）への犬の連れ込みは禁止されています。米国障害者法に基づく有資格障害者の支援を提供する、個別に訓練を受けた犬およびその他動物は例外です。

安全第一：トレイルから外れない。海は大変危険です。水際および崖の縁からは十分に離れてください。アメリカツタウルシおよびダニに触れぬよう、標識のあるコースのみを歩いてください。安全のため、岩や木には登らないでください。

車両／駐車場：ポイントロボス内での制限速度は 15MPH です。道路にいる野生生物または歩行者に注意して運転してください。車両は所定の駐車場に駐車してください。それ以外の場所は駐車禁止です。駐車場に空きがない場合は路肩に駐車せず、その先にある駐車場に駐車してください。車はロックし、貴重品は携帯してください。自転車は舗装道路でのみ使用が許可されています。トレイルへの乗り入れまたは押し歩きは許可されていません。

野生の動植物を大切に：野生生物に関する問題は、公園管理者またはガイドにお知らせください。花、きのこ類、木、岩石、貝類、潮溜りに生息する生物、藻類など、自然に存在するものをその場所から持ち出したり移動させないでください。動物には食べ物を与えないでください。魚釣りは固く禁じられています。

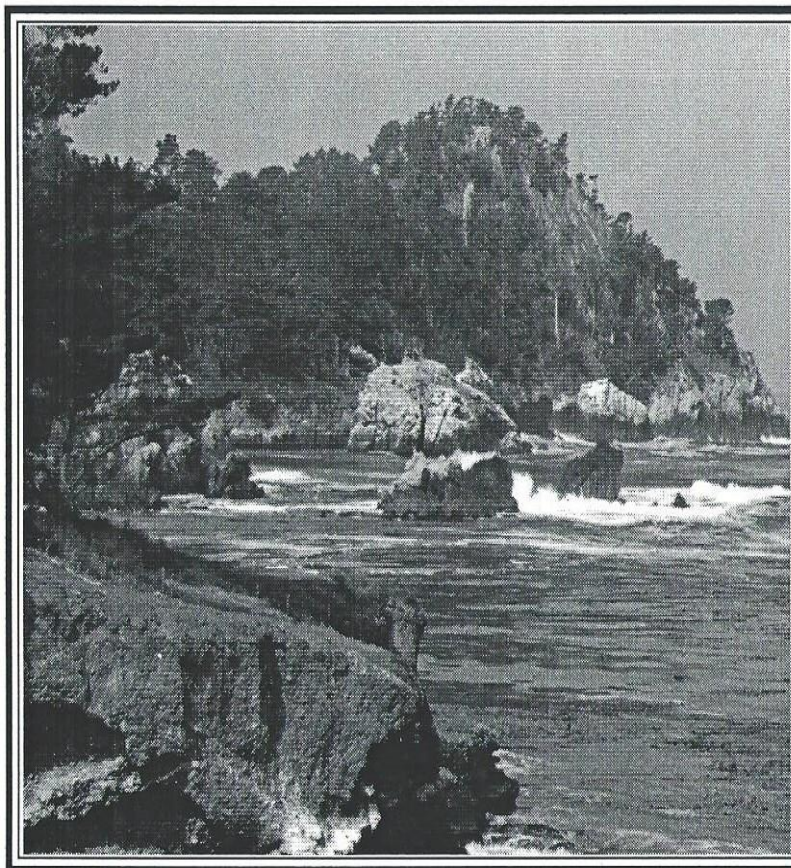
禁煙／火気厳禁：ポイントロボス内の草木は非常に燃えやすいです。ポイントロボス内での喫煙、バーベキューの実施、火気、コンロの使用は許可されていません。

飲食：飲食は、ホエーラーズコーブ、パイニーウッズ、およびバードアイランドでのみ許可されています。いかなる火気の使用も禁止されています。

遊びおよびレクリエーション：ドローンおよび野球、フットボール、frisbeeまたは凧などの道具を使用する遊びは許可されていません。ジオキャッシングは許可されていません。このような遊びは入園者に対して危険なだけでなく、ポイントロボス内の自然および野生生物に危害を与える可能性があります。

閉園時間：入口に掲示してある閉園時間までには必ずご退園ください。

ポイントロボス 州立自然保護区に ようこそ



写真提供：チャールズ・M・バンクロフト

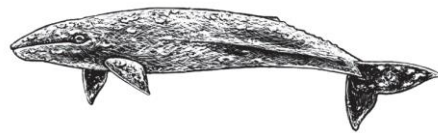
カリフォルニア州立公園は、ご来園の皆さまに平等に施設をご利用いただけるよう努めています。補助が必要な方または代替形式で本パンフレットを必要とされる方は、ご来園前に(831)624-4909、または 711 電話リレーサービスまでお問い合わせください。

ポイントロボス州立自然保護区（以下「ポイントロボス」）は、他に類のない、陸上および海洋動植物の野外保護区です。これまでに300種を超える植物および250種以上の動物の生息が確認されています。1967年には、国立公園局より「国立自然ランドマーク」の指定を受けました。

ポイントロボスに生息する生物で最も騒がしいのは、おそらくカリフォルニアアシカでしょう。アシカは、シーライオンポイント沖の岩の上に生息するのが見られます。そのアシカのしわがれた鳴き声を聞いた初期のスペインからの入植者たちは、オオカミの吠え声を連想したそうです。当時この辺りは正式には「Punta de Carmelo（カメル岬）」と呼ばれていましたが、彼らは、スペイン語でアシカを意味する「lobos marinos（海のアシカ）」をとって「Punta de Lobos（オオカミの岬）」と呼んでいました。このしわがれ声のアシカの名前は、1933年、正式にこの自然保護区を買収したカリフォルニア州は、このしわがれ声のアシカにちなんで、この自然保護区を「ポイントロボス州立自然保護区」と名付けました。



11月になると、カリフォルニアコククジラがアラスカの冷たい海を離れ、繁殖と子育てのため、西のカリフォルニア半島の浅い入り江まで西海岸沿いを南下します。そして春になると、全長40~50フィート、体重約40トンのコククジラはベーリング海の餌場へと戻っていきます。コククジラはこうして南北に往復し、年間1万マイルを超える距離を回遊します。これは、現在地球上に生息する哺乳類の回遊距離としては最長です。ポイントロボスからは、12月後半から1月にかけては、南下するコククジラが、そして3月から5月には北上するコククジラが多くみられます。



またポイントロボスでは、食べ物を探しに海へ潜ったり、海藻の茂る場所でただ静かに仰向けで浮かんでいるカリフォルニアラッコを目にすることもあります。19世紀末には絶滅の危機に瀕したカリフォルニアラッコですが、今日では海洋生物を保護する厳しい法律の制定によって保護されており、絶滅の危機に脅かされているその数は、ゆっくりですが着実に



増加しています。

ポイントロボスでもう一つ特徴的なのは、モンレーイトスギです。初期地質時代にはこの木は広く生息していましたが、現在、野生のモンレーイトスギ林が見られるのはモンレー半島、ペブルビーチ、そしてポイントロボスだけです。波が打ち付ける断崖の上で、強風と水しぶきにさらされながら、崖っぷちにしがみつくように生えるこの木は、海と陸の終わることのない対立を表現しています。生木のイトスギの葉は濃い緑色ですが、枯れたイトスギの漂白されたかのような捻れた枝には赤藻類が繁殖し、その様子は対照的です。ポイントロボスは、所有者が変わった際にも奇跡的に開発を免れました。ここにはかつて、捕鯨基地、花こう岩採石場、アワビの缶詰工場があり、炭鉱の輸送地点でもありました。一度はポイントロボスの大部分が町の建設地として提案されたこともありましたが、最終的には、ポイントロボスはその独特な魅力に惹かれた所有者に購入されました。1933年、ポイントロボスはSave-the-Redwoods League（レッドウッド保護連盟）の支援により、カリフォルニア州の信託統治下に置かれることになりました。その当時の原始的で野性的な魅力の多くは、今でも昔のままです。保護区内では、必要最低限の車道しか整備されていないため、ほとんどの美しいエリアには歩いてしか行けません。



1960年には海の750エーカーがポイントロボスに追加され、アメリカ初の海洋保護区となりました。現在はモンレー湾国立動物保護区の一部となっており、潮間帯および潮下帯動植物種が完全に保護され、種の生存にとって好ましい条件の通常のバランスがほとんど乱されずに維持されています。



注意！

海は大変危険です。岩の断崖から離れて立ち、大波に流されないよう注意してください。

アメリカツタウルシに触れない。艶のある3枚の葉を持つ草で見分けやすく、トレイルの脇にも生えています。この葉っぱには触らないでください。葉から分泌される油に触れるととても痒い発疹ができ、それが数週間続く場合もあります。



車はロックしてください。貴重品は必ず携帯してください。

（イラスト：ローレル マンディー）